

議題（1）令和7年度企画提案型協働事業実施要領について

No	頁数	質問・意見	回答
1	資料1-1 P2	「過去5年の実施事業」とあるが、R7に実施する事業は「過去」の実施事業に含まれないのではないかと記載するのであれば「過去5年の採択事業」ではないか。	【参考】実施事業一覧（過去5年を記載） →【参考】採択事業一覧（過去5年を記載）に修正いたします。
2	資料1-1 P3	提案：「3年ローリング」という用語が一般の方にはなじみが薄く、理解が困難であると思う。 「印西市では、個別事業の実施期間を3年一区切りとすることが多いことから」のように丁寧に説明した方がよい。	（実施計画の3年ローリングに基づく） →（市が毎年度策定する各事業の実施計画期間は3年間の）に修正いたします。
3	資料1-1 P3	「市への市民活動団体登録」を必要要件①としては？	「①あらかじめ市民活動団体登録の決定を受けていること」と追記させていただきます。
4	資料1-1 P3	現状の要件①から⑥の全てを満たす必要があるか？→「上記全ての要件を満たすもの」と明記	満たす必要がございます。そのため、 以下の要件を満たす→以下の全ての要件を満たす 上記の要件を満たす～→上記の全ての要件を満たす～ に修正いたします。
5	資料1-1 P10	事業の完了：変更されて文章での実施者が誰かを明記した方がよい。また、課題の振り返りを何のために行うのかも明記した方がよい。「事業の成果」を「成果報告書」として事業実施者に作成して頂きたい。書式をきっちりと固定する必要はないが、記載すべき事項は市側から指示すべき。 ➡（提案：修正文案） 事業が完了したら成果報告書を作成し、市の指定する書式の評価シートに基づき双方がそれぞれ事業の評価を行います。成果報告書と評価結果は市民活動推進委員会に報告し、成果確認と課題抽出について検討し、次年度以降の事業の進め方に反映します。	事業の実施 『3月末までには、関連部署に「業務完了報告書」を提出していただきます。』 と追記します。 事業の完了 評価については、事業の成果とともに市民活動推進委員会に報告し、次年度以降の提案の参考としていただくために、課題について振り返り、会議の結果については、市HPに掲載するなど、双方にフィードバックします。 と修正いたします。
6	資料1-1 P10	「評価については、事業の成果とともに市民活動推進委員会に報告し、課題について振り返ります。」とあるが、委員会での振り返りは各団体、担当課にどのようにフィードバックするのか記載したほうがよいのではないかと。	上記No.5で対応
7	資料1-1 P11	アイデア審査を免除します（他の提案者と競合しない場合に限る）。競合する、しないの判断は誰がするのでしょうか。この免除規定は難しいのではないのでしょうか。	提案にあたってはP18の協働の機会提案書に指定テーマを記入し、事前に提出していただきますので、競合相手の有無を確認できることから、アイデア審査の免除規定を設けることが可能です。
8	資料1-1 P15	（条件を満たせば免除規定あり）。 ・免除規定を長くならなければ“掲載”されたらどうでしょう。	（条件を満たせば免除規定あり）。 →（印西市契約事務規則第26条に該当すれば減免あり）。に修正いたします。

議題（１）令和7年度企画提案型協働事業実施要領について

No	頁数	質問・意見	回答
9	資料1-1 P22・P26	22Pと26Pの計画書にある評価の方法に関する目標値について、事業達成による成果目標と事業実施体制の目標に分けて記載すべきではないか。例示を例にとれば募集人数20名の全員修了という目標とそのために何回程度の講座でどのような指導者を充てるという目標を記載していただきたい。	評価方法の内容については、各事業内容に応じて、できるだけ具体的に記載するよう指導したいと考えています。